

4 キョーリン製薬グループ「EHS」方針

キョーリン製薬グループは、全ての企業活動において、企業行動憲章に基づき、EHSマネジメントシステムを経営の重要な柱として位置づけ全社で取り組んでいます。

「地球温暖化防止」「資源保護」「自然環境との調和」を重点テーマとする環境保全及び汚染予防に積極的に努めると共に、当社グループに関わる全ての人の「安全」と「健康」の確保を最優先し、労働安全衛生活動を積極的に推進しています。さらには、地域社会と協調しながら社会貢献活動を推進し、社会との共生を実現していきます。当社グループの方針は以下のとおりです。

1. EHSマネジメントシステム

- ① EHS担当役員は、EHS推進責任者を任命し、EHS管理の組織の責任と権限を明確にして、EHS活動の維持向上を推進していきます。
- ② 環境マネジメントシステム(ISO14001)及び労働安全衛生マネジメントシステム(OHSAS18001)を十分に認識し、計画(Plan)、実行(Do)、点検(Check)、改善(Action)のサイクルを半永久的に回していくことによって、継続的にEHSの改善活動を行い、EHSマネジメントシステムを確立していきます。
- ③ 本方針及び目標を達成するために、積極的にEHS活動の推進体制を準備します。
- ④ 組織に関わる人がEHS活動を理解し、自覚を持った行動ができるよう教育・訓練を実施します。

2. 環境保全への取り組み

地球環境保護を実践するため、省エネルギー・省資源、廃棄物の削減、化学物質の管理強化など環境負荷物質の削減と、限りある資源の有効利用を推進し、目的・目標の設定と見直しを都度行い、当社グループに関わる全ての人と積極的な活動に努めていきます。

3. 安全と健康への取り組み

継続的な安全衛生管理を自主的に進めることにより、労働災害の防止と働く全ての人たちの健康増進、さらに進んで快適な職場環境を形成し、労働災害ゼロを目指した安全衛生水準の向上に努めていきます。

4. 内部監査

EHS活動が適切に実施されていることを確認し、その実施状況を評価する内部監査システムを整えていきます。本方針を達成するための活動計画の進捗状況確認やシステムの運用、法令遵守等のチェックを行い、業務活動の継続的改善に努めていきます。

5. 情報の開示

ステークホルダーとの適切なコミュニケーションを行い、環境保全活動や労働安全衛生活動への取り組み内容を積極的かつ公正に開示していきます。

2012年4月1日

キョーリン製薬グループ
EHS担当役員

松本 臣春

※ EHSとは環境・労働安全衛生の意味で、E=Environment, H=Health and S=Safetyの略。

実施年	環境関係	労働安全衛生関係
1998年	生産部で環境活動方針をとりあげる	
1999年	ダイエット30作戦開始 野木工場 ISO14001 認証登録	
2000年	焼却炉全廃 行動憲章・社員行動指針の制定 岡谷工場 ISO14001 認証登録	
2001年	能代工場 ISO14001 認証登録	労働安全衛生マネジメントプログラム導入検討
2002年	諏訪湖アダプトプログラム参加 ※ 諏訪湖畔の一定区間を支持、美化活動を行う活動 栃木県保険衛生学会表彰「環境への取り組み」 創薬研究所、研究センター ISO14001 審査登録に向け取り組み開始	3工場* OHSAS18001 審査登録に向け 取り組み開始
2003年	創薬研究所、研究センター BSI ジャパンによる審査受審 ISO14001 認証登録 営業部門、本社 ISO14001 認証登録に向け取り組み開始	3工場* BSI ジャパンによる審査受審 OHSAS18001 認証登録 創薬研究所、研究センター OHSAS18001 審査登録に向け取り組み開始 営業部門、本社 OHSAS18001 認証登録に向け取り組み開始
2004年	営業部門、本社を含めた全社統合 BSI ジャパンによる審査受審 全社で ISO14001 認証登録	本社、研究事業所、営業部門を含めた全社統合 BSI ジャパンによる審査受審 全社で OHSAS18001 認証登録
2005年	ISO14001・OHSAS18001 両システムの統合、全社として BSI ジャパンによる審査受審 全社で ISO14001 認証更新、OHSAS18001 認証継続 2006年3月野木工場閉鎖（機能は全て能代工場に移管）	
2006年	ISO14001(2004年版) 規格へ切替とあわせ認証継続及び OHSAS18001 認証更新	
2007年	グループ会社（キョーリンリメディオ井波事業所）への ISO14001 認証取得支援開始	
2008年	グループ会社（キョーリンリメディオ井波事業所）への ISO14001 認証取得支援・OHSAS18001 認証取得 支援開始	
2015年	わたらせ創薬センターで ISO14001 認証取得、OHSAS18001 認証取得 2015年7月創薬研究所閉鎖	
2016年	能代工場・岡谷工場・わたらせ創薬センター及びグループ会社（キョーリンリメディオ井波事業所）で ISO14001 認証更新、OHSAS18001 認証更新 2016年9月岡谷工場閉鎖	

* 3工場：岡谷、野木、能代工場

【 ISO14001（環境マネジメントシステム）認証登録証】



【 OHSAS18001（労働安全衛生マネジメントシステム）認証登録証】



2016年度
重点目標

全社重点目標（2016年度の結果及び主な状況）

スローガン：EHS - HOPE100

杏林製薬（キョーリン製薬グループ）を永続的に堅実で健全な企業として
成長させるため、地球と人に優しい企業を目指します。

	重点目標	結果及び主な状況	記載頁
環境	◎ エネルギー合理化 CO ₂ 排出削減 ■ 2019年度までの削減目標 杏林製薬：年平均2%削減 キョーリン製薬：年平均1%削減 グループ*	温度管理の徹底とエネルギーの合理化(節電対策)により、エネルギー使用量の削減に取り組みました。 2016年度CO ₂ 排出量：杏林製薬：18,192ト 前年度比8.3%減 キョーリン製薬：29,117ト 前年度比4.2%減 グループ*	P7～P11
	◎ 廃棄物の削減 廃棄物量の削減 最終処分率の削減	工場・研究所を中心にリサイクルなどに取組み、廃棄物削減に努めました。 2016年度廃棄物量：434ト 最終処分量：12ト 最終処分率：2.8%	P7～P11
	◎ 営業車両の燃費向上 目標：前年度燃費より1%改善	エコドライブの啓蒙、ハイブリット車両導入等により、営業車両の燃費が向上しました。 営業車両燃費：14.7Km/ℓ 2016年度比3.5%改善	P7～P11

*キョーリン製薬グループ目標 = 杏林製薬全事業所 + キョーリンリメディア井波工場 + キョーリン製薬グループ工場 合計

	重点目標	結果及び主な状況	記載頁
社会貢献活動	◎ 地域貢献活動の推進	継続的な地域貢献活動を図るため各種イベントを各事業所で計画し、予定通り実施しました。 (主な活動) 事業所周辺の清掃活動 地域産業祭への出展 アルミ缶を回収して車椅子を寄付 事業所内での献血実施 全MRの普通救命講習受講を推進	P12～P13
	◎ 周辺住民とのコミュニケーション	周辺住民の皆様とのコミュニケーションを図るため各種イベントを各事業所で計画し、予定通り実施しました。 (主な活動) インターンシップ受入 職場見学、体験学習支援 納涼祭、観桜会の開催 障害者施設の販売支援	P12～P13

	重点目標	結果及び主な状況	記載頁
労働安全衛生	◎ 休業労災ゼロ	労働安全衛生対策の履行による労災の削減に取り組み、2016年度 工場、研究所では休業労災は発生しておりません。	P14～P17
	◎ 営業車両事故率 5% 以下への 具体的検討と実施 車両事故の削減：事故率 18% 未滿	衝突防止機能付き車両の順次導入、社内交通安全ルールの浸透を行い、交通事故を削減しました。 2016年度営業車両事故 (50% 以上有責事故) 事故件数：163件 事故率：17.4%	P14～P17